

児童・生徒の現状・課題

- ・提示された課題に対して落ち着いて取り組むことはできる反面、主体性が希薄である。
- ・自分の考えを書き表す際、表現力・創造力が乏しい。



学び続ける力を育むための重点目標

○児童自ら、自分自身の学びを進めていくという意識を高め、他者とのかわりの中で、学びを得ることができるよう「価値ある対話の共有」を展開する。



具体的な手だて①

意欲をもって課題に取り組むことができるよう、見通しをもたせる導入の工夫を取り入れる。

具体的な手だて②

自分自身の学びを進めていくために、学習形態・教具等を選択する機会を増やしていく。

具体的な手だて③

ペアワーク・トリオワークなどを工夫し、自分自身の考えを他者に表現できるようにする。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・研究の Classroom をつくり、日々の実践や意見、相談を日々書き込めるようにする。
- ・管理職の授業観察の際は、指導案を教員にも配布し、授業を互いに見合う機会をつくる。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	目標値(5月)	結果(1月)
①自分で計画を立てて学習している	85.0	
②学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。	87.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	目標値(5月)	結果(1月)
①自分で計画を立てて学習している	85.0	
②学習をしてもできるようにならないときは、どうすればよいか見通しをもたせている。	95.0	

総括(5月)

総括(1月)